

令和3年度「小丸川水系流域治水協議会」開催

- 気候変動の影響等による水災害リスクの増大に備えるために、これまでの治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働して、水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するため、令和3年3月に関係機関、各自治体と連携して今後取り組む内容を示した「小丸川水系流域治水プロジェクト」の策定、公表を行い、取組を推進しております。
- 今回の協議会では、グリーンインフラの取り組み、事業効果(国直轄区間)の見える化等を踏まえた「流域治水プロジェクト」の更新を図るとともに、具体的取組内容について情報共有を図りました。

開催概要

- 開催日: 令和4年3月23日(水)
- 会場: 宮崎河川国道事務所 会議室 (Hybrid開催)

議事内容

- 規約の改正
- 流域治水プロジェクトのフォローアップ

主な意見等

- 規約(改正案)について了承を得た。
 - 流域治水プロジェクトの更なる推進を目的としたグリーンインフラの取り組み、事業効果(国直轄区間)の見える化等の追加資料について説明し、了承を得た。
 - 各機関の具体的な取り組み内容について、ご紹介いただき、情報共有を図った。
- <以下、アドバイザーより>
- 国土強靱化の治水対策において、河畔林伐採や河道掘削等が全国的に実施されているが、河川環境への影響が懸念されている。
 - 流域治水の取り組みにおいても、環境と共生することが重要であり、今回、グリーンインフラの取り組みに関する資料が追加されていると理解している。流域治水の取り組み推進にあたっては、流域の河川環境を破壊しないよう、心掛ける必要がある。

協議会の構成委員

宮崎河川国道事務所長	
宮崎地方気象台長	
宮崎財務事務所長	
南部九州土地改良調査管理事務所長	
西都児湯森林管理署長	
宮崎県	危機管理局長兼危機管理課長
	河川課長
	砂防課長
	都市計画課長
	高鍋土木事務所長
	児湯農林振興局長
高鍋町長	
木城町長	
川南町長	
森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所長	
アドバイザー	宮崎大学名誉教授 杉尾 哲

